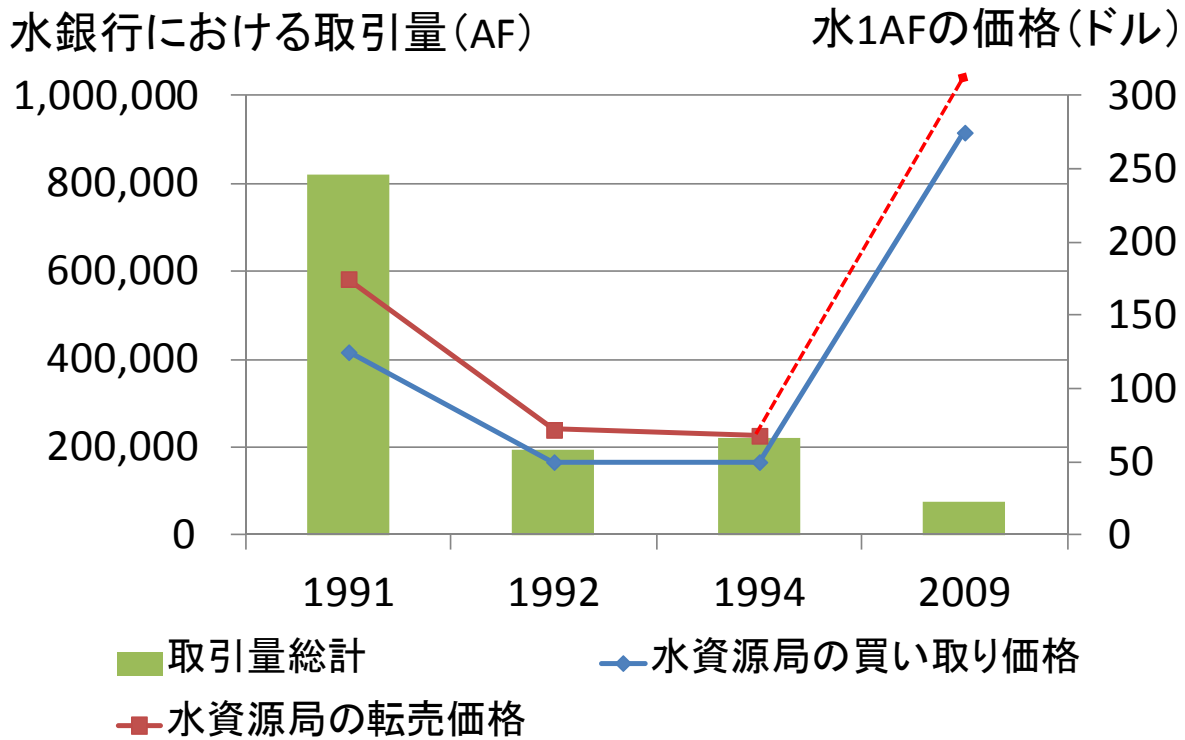
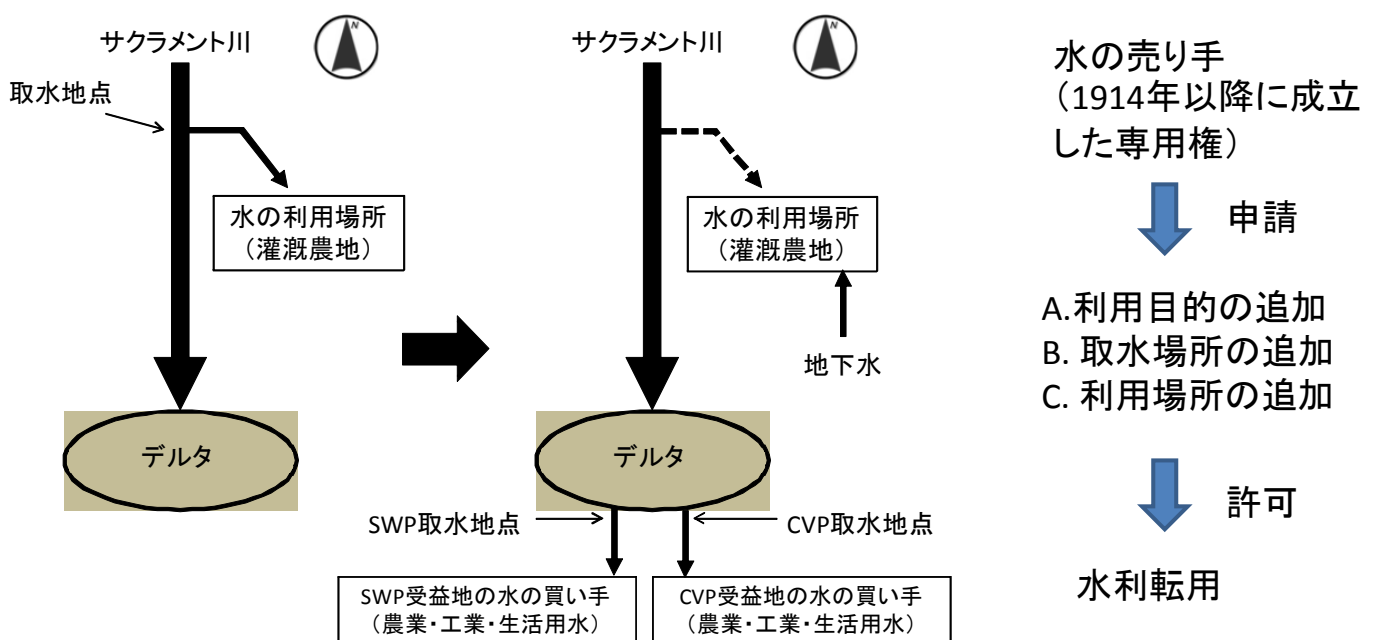


政府の役割③ 固定価格＋価格変動条項



政府の役割④ 水利権の許認可行政



注) 水資源管理委員会の役割だがあらゆる水利転用に許認可権限が及ぶわけではない

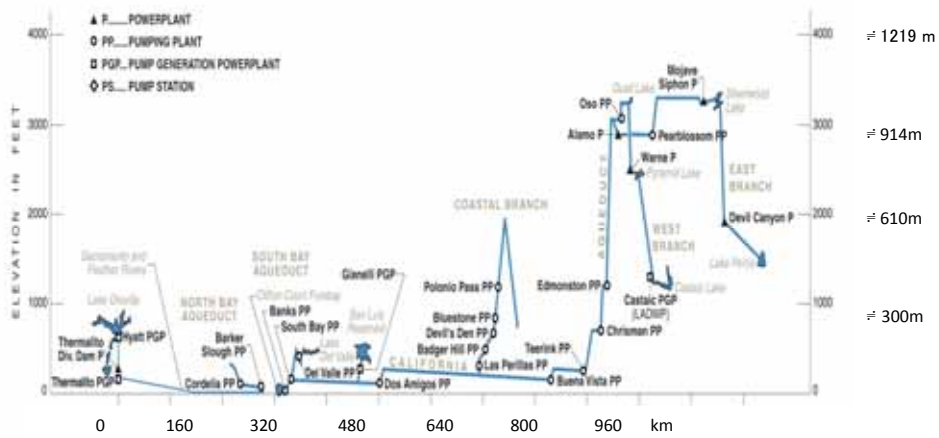
政府の役割⑤ 外部性の是正

1991水銀行の問題点	是正策(制度変化)
水の売り手地域の経済疲弊	休作面積の制限
地下水の過剰汲み上げ	モニタリング強化
既存の水利権の侵害	売買可能な水の定義の明確化
生態系への配慮	政府による直接的な水購入
密室取引との批判	手紙・電話→雑誌→インターネットを活用した取引の募集

巨大なインフラ



DWR S.Kashiwada氏提供

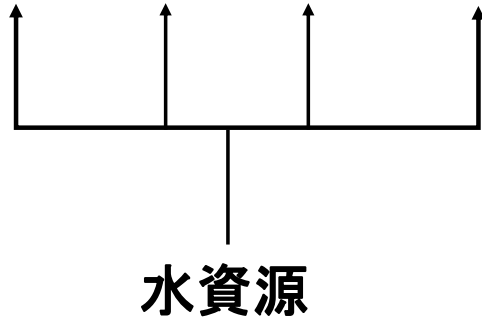


DWR S.Kashiwada氏提供図をもとに作成

・デルタ～ペリス湖≒730km →豊川～対馬≒740km ・本宮山: 848m

水銀行と環境流量

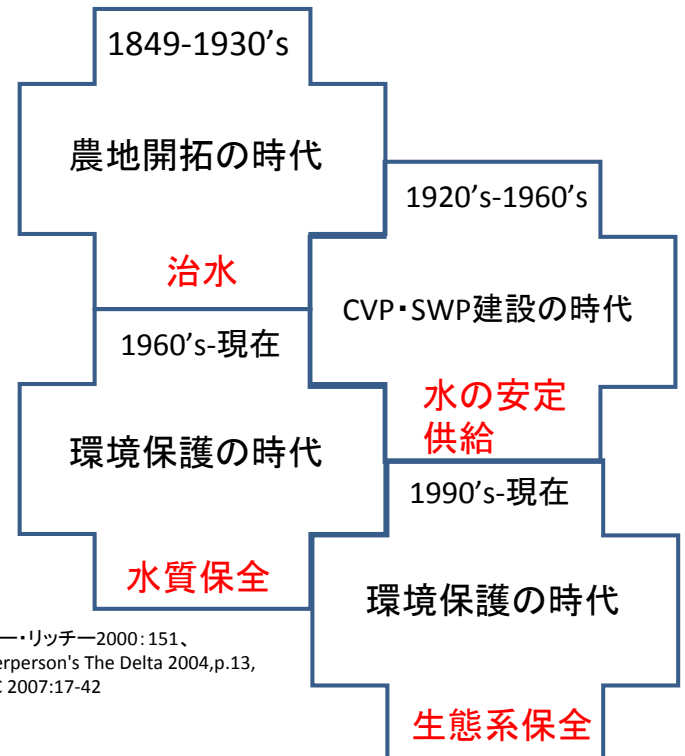
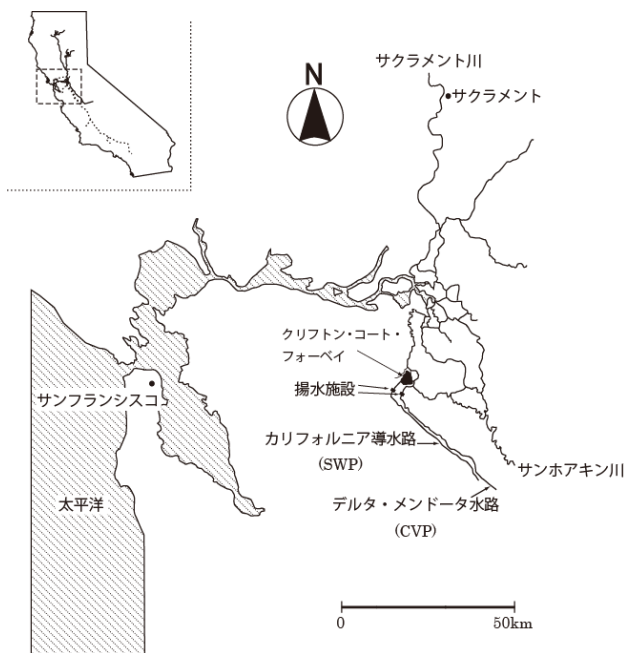
農業 工業 生活 **環境**



Adapted from Du Pont PERMASEP Permeators

渇水時に生態系向けの水配分をどう確保するか？

デルタ問題



スノー・リッチー2000: 151、
Layperson's The Delta 2004,p.13,
PPIC 2007:17-42

デルタ南部の利水者 vs 生態系保全

デルタ



色々な政策手段

1. 最低流量の確保: 河川維持用水
2. 行政による保護: 水利権許認可条件の操作
3. 流水水利権 (instream-flow water right) の創出
4. 水利転用
5. 節水
6. 貯水池操作
7. 裁判

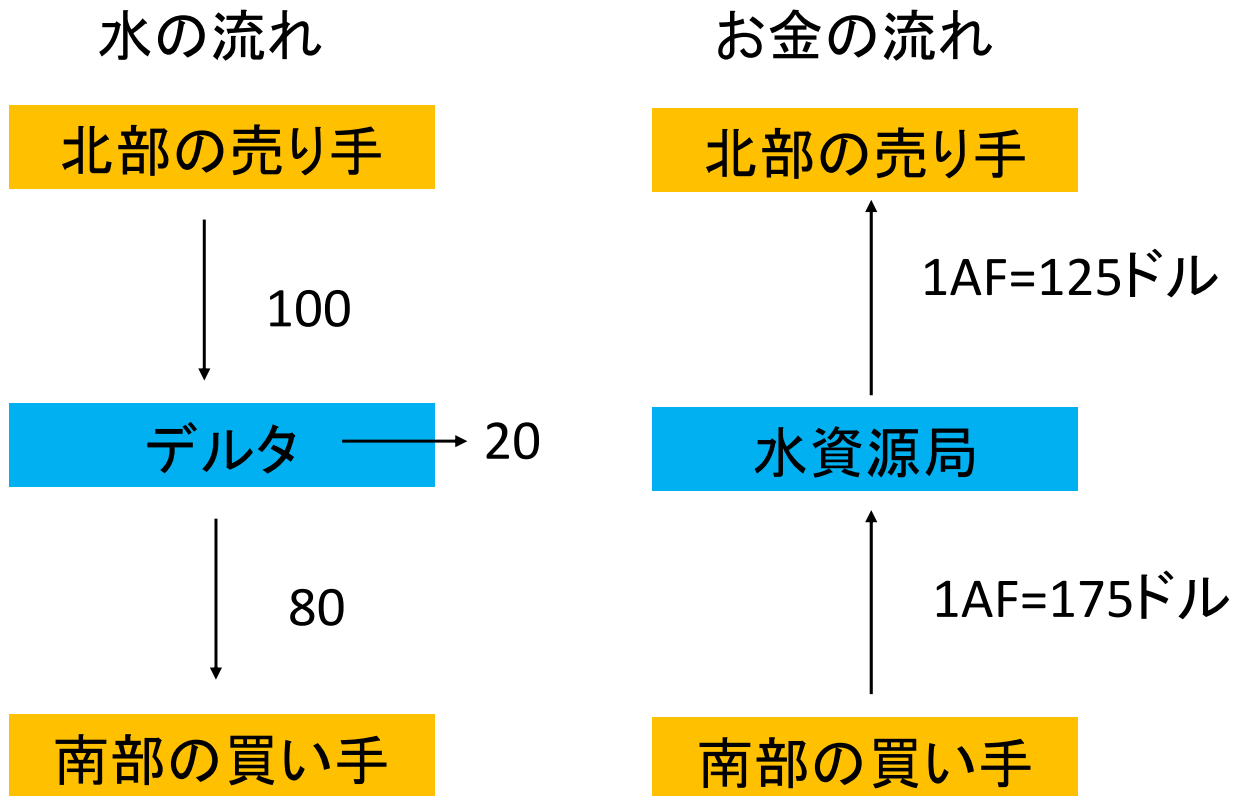
(Gillian and Brown 1997, Katz 2006)



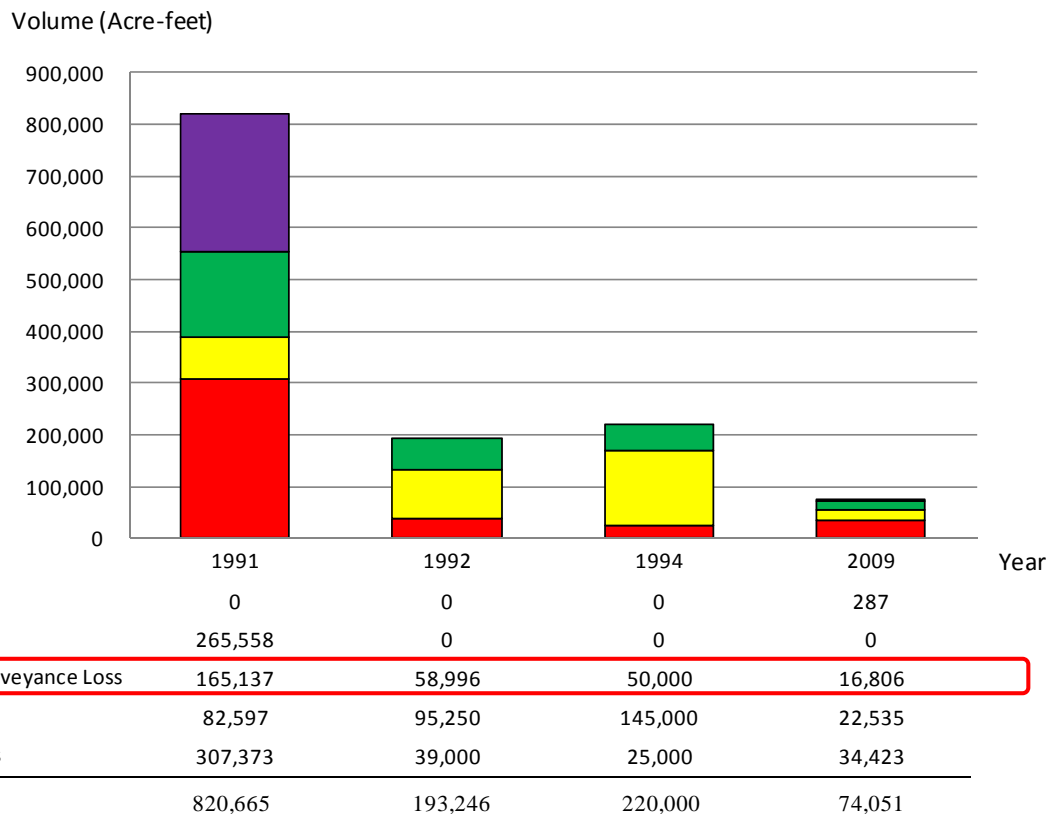
水銀行で採用された政策手段

1. 絶滅危惧種法: Regulatory drought
2. 政府による買い取り: 公共財供給
3. 買い手負担

水銀行における環境流量確保のしくみ

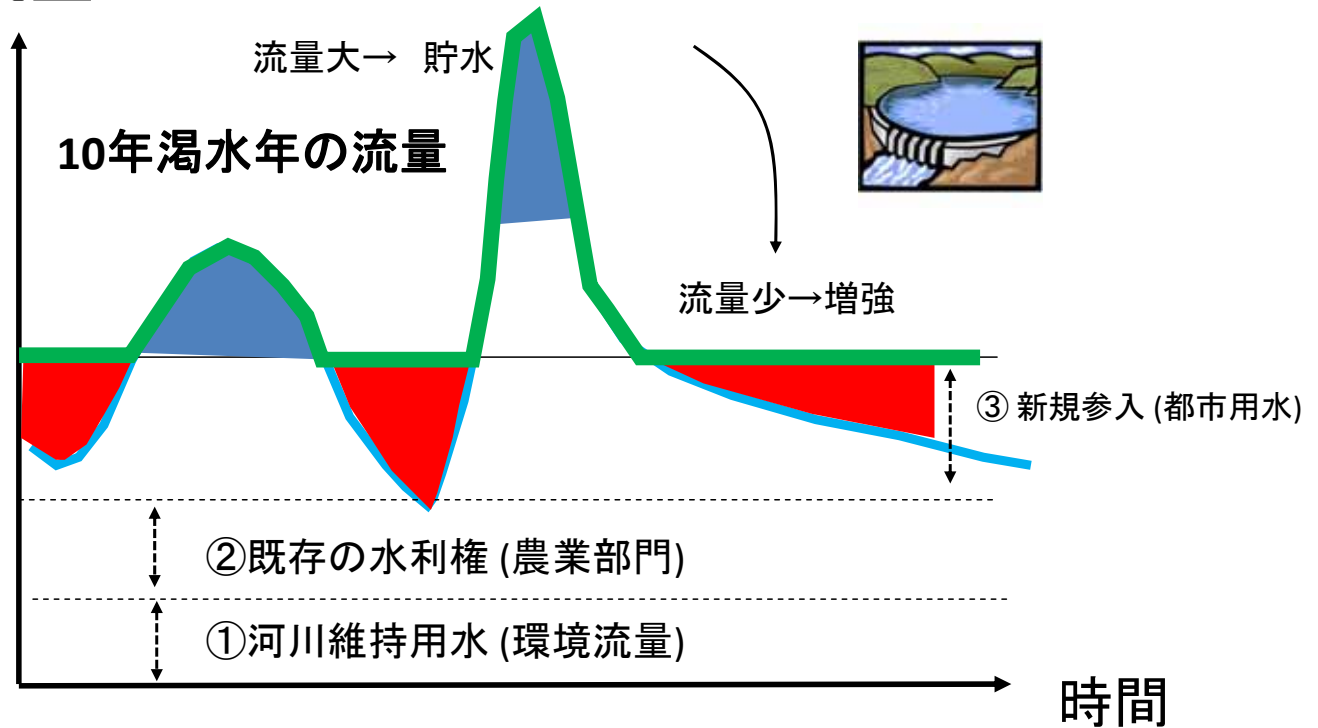


環境流量の確保



4. 日本との比較

流量

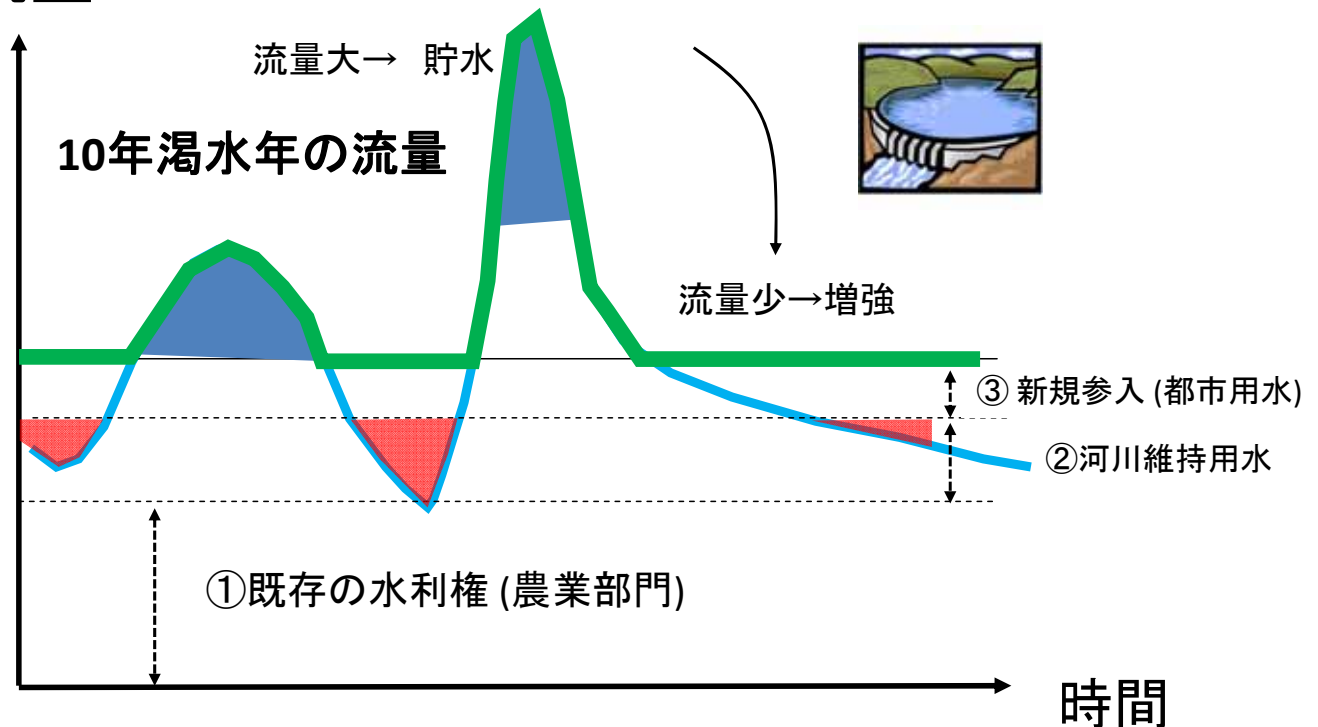


農業部門：自流に依存

工業・生活用水部門：ダム貯水に依存

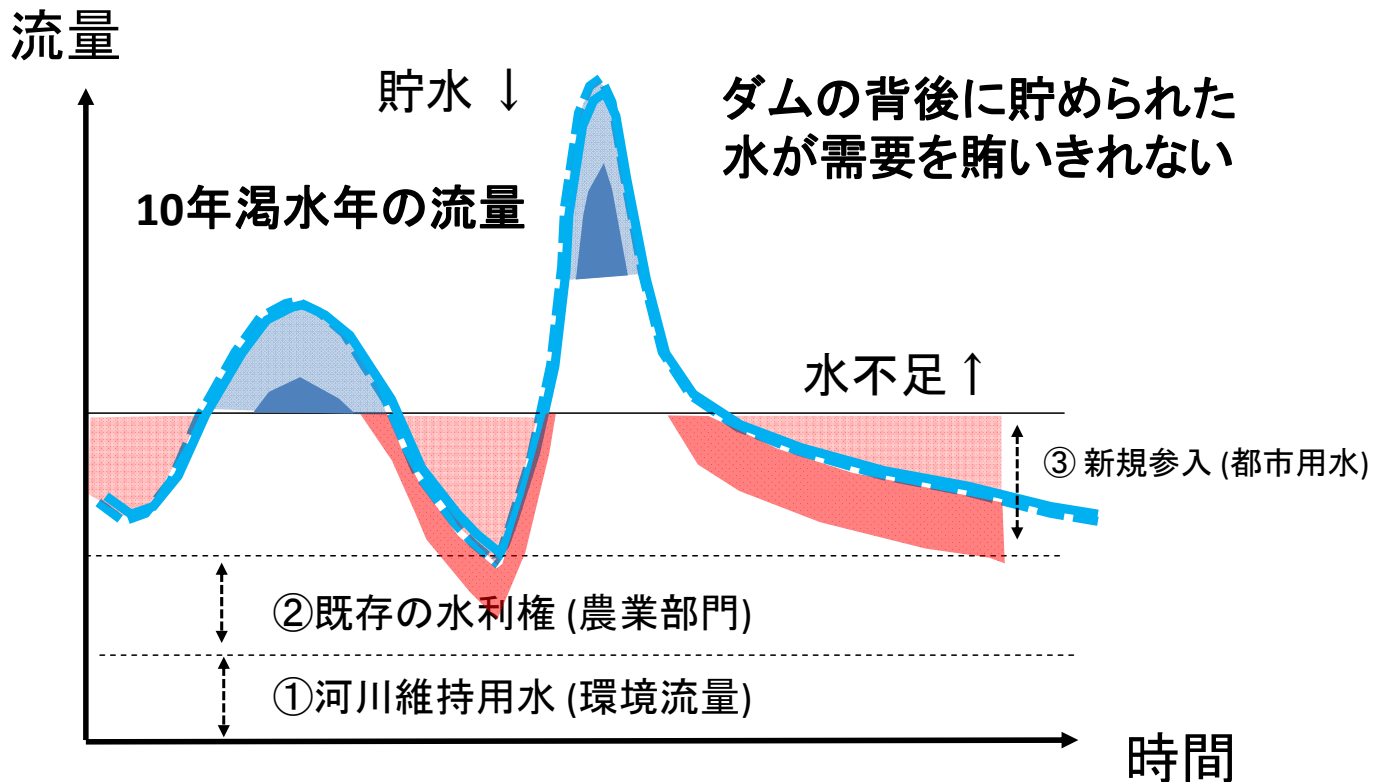
不特定容量

流量



河川維持用水の確保→不特定容量

異常渇水時の配分：渇水調整



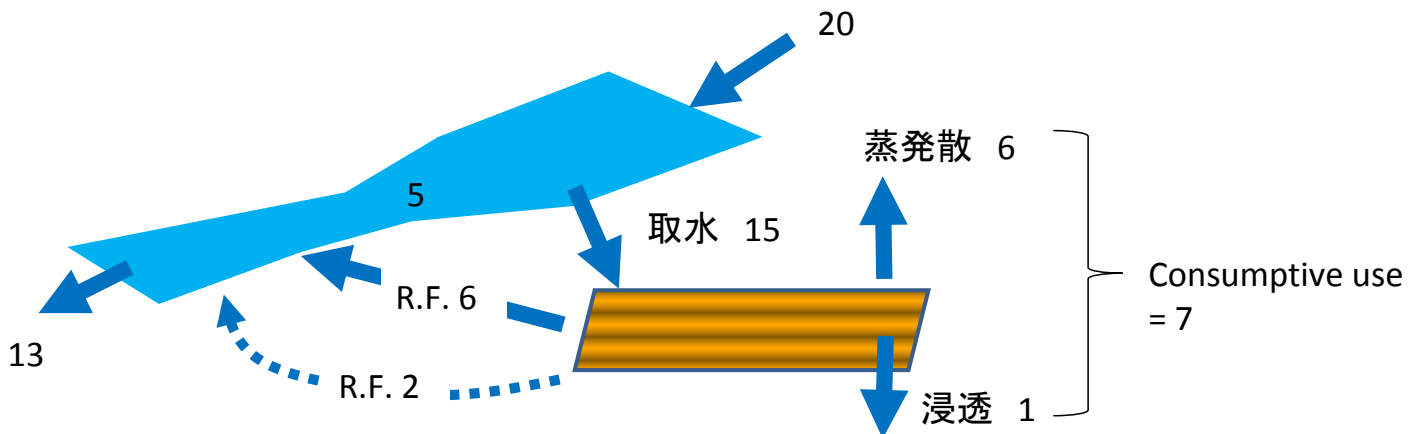
古田優先→水利権者同士の交渉による配分
(ダムのパンクを避けるためいかに節水するか?)

水銀行と渇水調整のちがい

1. 有償取引の有無
2. 水銀行＝水の価値を広く知らしめる仕組み
3. 節水→転用という複合的な政策
4. 政府の役割：日本の場合は水利権者同士の交渉に委ねられる場面が多い

導入にあたっての注意点

1. インフラの存在
2. 「転用可能な水」の定義
3. 地下水の取り扱い



Outline

1. カリフォルニア州の水問題

2. 水銀行

3. 環境保護

4. 日本との比較

5. まとめ

5. まとめ

1. 水銀行とは何か？
→ 効率的な水の再配分を進めることで、渇水被害の更なる拡大を防ぐ制度
2. 水銀行の問題点は？
→ 水取引に外部不経済が伴う恐れがあること
3. 水銀行における政府の役割とは？
→ 水取引を促進させる法整備 + 水取引に伴う外部不経済の是正

ご清聴ありがとうございました

